

会長 稲田 春男
TEL 025-536-3958

事務局 伊藤 明德
上越市仲町4-2-23-704
TEL 025-522-1905

会報編集 遠藤 俊一
新潟市西区青山1-13-28
TEL 025-265-4181

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://niigata-ksk.sakura.ne.jp>

**協会への御寄付
ありがとうございました**
「いぎいぎました」
理事長 今井 浩二

越後ハイキングクラブ様
より多額の御寄付をいた
だきました

昨年の11月17日に越後ハイ
キングクラブ事務局の中山哲
夫様より次の連絡がありまし
た。

1. 会員の高齢化のため12月31日をもって、会を解散するので、退会をしたい。
2. 解散・退会に伴い、それまで会で積み立ててきた遭難対策基金の壹百万円を当協会に寄付をしたい。

会としては、仲間の加盟団体が退会することは大変残念ですが、解散ということで致し方ないことと受け止めております。



また、これまでに積み立ててこられた貴重な資金を御寄付いただけるということでも、感謝申し上げます。ご寄付いただいた壹百万円につきましては協会の活動に有効に活用していきたいと思えます。感謝の気持ちを申し上げるために稲田会長と今井で感謝状を持参し、お礼に伺いたいと申し出ましたが、来訪は固辞をされました。そこで記念に残る感謝状を贈ろうということで、クリスタルガラス製の感謝状を作成し、お送りさせていただきました。



WEST様よりオリジナルステッカーの売上の一部を御寄付いただきました
かねてよりWEST様から「ステッカーの販売を計画しており、その売り上げの一部を当協会に寄付する予定がある」という有り難いお話しをいただいております。
12月30日から発売を開始されたということで、2月9日に上越市の柿崎コミュニティプラザにおいてWESTの松澤様より稲田会長に手渡していただきました。

**来年度の北信越団体は
新潟県開催
ご協力の依頼**
理事長 今井 浩二

御寄付につきましては協会の活動に有効利用させていただきたいと思えます。

新潟、長野、富山、石川、福井の5県の持ち回りで行われる北信越団体のスポーツクライミング競技が令和5年7月29～30日に新潟市東区松島1丁目の「CAMPA」を会場に開催されます。
各県の皆様が満足していただけるような大会にしていきたいと考えております。
現在は実行委員会を立ち上げ、着々と準備を進めております。
つきましては、大会運営等で加盟団体の皆様のお力が欠かせません。ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

加盟団体の山行から

正月山行

菅名岳・麒麟山

岐阜山岳会 楡井 利幸

今年の正月の山行は菅名岳でした。

1月2日、8時にいずみの里駐車場へ参加者3名が集まったが、積雪も殆どないため大蔵岳の登山者用駐車場に各々の車を置いて8時30分出發した。胴腹清水の林道を進むとそれなりに積雪が増して来た。数日前のスノーシュー足跡が確認できた。2名はスノーシュー、1名はワカンで小人数だとワカンは不利なため、スノーシューを装備するよう提言したが、問題は価格である。1万円前後のスノーシューがネット市場に並んでいるが、外側がパイクのものは林道や緩斜面な問題無いが急斜面のトラバースなどには向いていな

い。やはり登山に使うとなるとエッジのよく効くもので35,000円くらいとなってしまう。

林道の終点で一休みし、沢沿いに少し進んだ砂防ダムのところから尾根へ登りつく。15分くらいで丸山尾根にでる。地獄の階段の少し上部である。ここにも2〜3日前の踏み跡があった。このあたりの杉林の径も、その上のブナ林も枝の先まで新雪がまとわりついて美しい。丸山尾根は607ピークから一気に標高をあげて909mの山頂に至る。傾斜が急になってくる。気温も下がっていて足元の雪は一步

一歩、ズリズリと下がってくる。「時間が押してきたので山頂には行けなくてもヨシとしよう」と意見も出始めたが、成海さんがいなくなったら執念が無くなったとならないように、一年の始めのこの登山は頑張るのだ。僕は、一昨年は白山で、昨年は光鬼山で具合が悪くなっ

て皆さんに迷惑をかけたから、今年はスマートに登りたいと思った。他の2人も白い山を十分に楽しんでた。ラッセルも頑張ってくれた。



13時30分山頂に着いた。出発から5時間であった。風が強いので写真だけ撮って607ピークまで下り、そこで湯を沸かして休憩した。

往路をそのままどり駐車場で解散して、今日の泊まり場の「馬下保養センター」へと向かう。保養センターは食堂が無くなっており、自炊用の鍋類も無い。全て利用者が自分の物を持ち込むようになっていて。風呂はとて

良い。5回も入った者もいたようだ。各自入館料500円を払う。宿泊は部屋代(五泉市以外の人)一室6,000円で4人泊まることができる。暖かい部屋と寝具がついて一人2,000円だからとても安い。

1月3日は私の希望で津川の麒麟山に行くことになった。9時に道の駅三川に集合し、麒麟山の登山口のトイレのある駐車場で支度を始める。と大江さんが来てくれて、「下山後、我が家へ寄って休んで行ってくれ」と言うので甘えることにした。麒麟山の駐車場は標高50m、山頂は191mだ。何度も来ているという

近さんの案内でゆつくりと登りはじめると常浪川沿いの杉並木が太さも揃って見事である。杉並木の終わったところから登りになりまもなく稲荷神社、山頂へと進んだ。縦走路にはトラロープが設置されていたが、雪に埋もれており懸垂下降でないと進めないの

で、ここで戻ることにした。

稲荷神社のとなりの東屋付近でお茶の時間にする。そこで阿賀町の郷土史家という青年と一緒に北側の阿賀野川沿いの道を下りて、トンネルを歩いて駐車場に出て登山を終えた。大江さんも来てくれたので、皆で大江さん宅へ寄せてもらう。お宅は旧鹿瀬中学校の近くの目抜き通りであって、家の中がとてもきれいなって感じて感心した。大江さんのつくった豚汁と、持参した昼ご飯を食べて、ここで解散した。

上高地・西穂高・丸山山行

日本山岳会越後支部

遠藤 俊一

我が会のフォト・スケッチ同好会では、上高地と西穂山荘付近の冬景色を切り取るという企画をした所、10名の参加申し込みがあった。

令和5年2月3日、メンバーは北陸自動車道大積PAに正午過ぎに集合し、車3台に分乗して上高地への中継地となっている沢渡に向かった。今夜の宿泊は、沢渡から上高地へのバス乗り換え駐車場の前にある木造2階建の小さな建物である。建物には「温泉山小屋ともしび」の看板があり、料金3,000円となっていた。併設されている建物がライダーハウスで、12畳くらいの畳敷の部屋に炊事場とトイレがあるのみ。これが1泊1,000円で泊まれる宿である。かけ流しの天然温泉で入浴、さっそく持ち込んだ弁当とおでんで夕食。賑やかな歓談ののち、思いつきの場所ではシェラフの人となった。

2月4日、6時起床、8時出発としていたが、もう4時頃から起きだして、ガサガサのごそごそ朝食や出かける支度が始まった。そんなに早く起きてどうするの！シェラフの中で5時まで頑張って寝てい

たが、この騒ぎでは起きるしかない。年寄り相手は困ったものだ。予約しておいたタクシーも早く来ており、7時20分頃には沢渡を出発して、釜トンネル入り口に向かう。今日のお天気予報は曇り、雪もちらつくとのことで、あまりよくない。釜トンネルゲート前で集合写真を撮って、7時46分出発した。トンネル内はほぼ平坦と思っていたが、かなりの登り。車が通らない冬のトンネルをひたすら登る。釜トンネルは標高約1,300m余、その先の上高地トンネル600mと合わせ約2,000mのトンネル登りは景色も見えず、結構つらい登りであった。その後、しばらく工事用車両のために除雪された道路を上高地ホテルまで進む。

ここから、大正池湖畔の道へ入り、田代池、田代橋へと向かう。途中の木々の梢あちこちで猿が木の枝をついばんでいる。我々には全く興味を示さない。生憎の天候で、周囲の山々は雲の中、白と灰色の墨絵の世界である。変化のない雪原を歩くこと1時間、ようやく田代橋に着いて小休止。晴れる気配はない。梓川左岸を歩いて行くと護岸工事が行われていた。川の水の流量の少ないこの時期に工事しているのだらう。この寒い時期にご苦労様だ。



10時45分河童橋に到着する。残念ながら吹雪模様で、奥穂高岳から前穂高岳へかけての雄大な山並みは雲の中。天気は悪く入山者は少ないと思っただが、次から次へと登山者に出会い、冬の上高地も結構賑やかだ。

冷たい風が吹き抜け、休憩場所を求めて小梨平の建物蔭迄行く。ここで昼食として、11時36分に下山開始。河童橋から梓川右岸と進む予定であったが、風雪強く、林間の車道を辿って帰ることとした。行くときにきつかったトンネルも下るのは早い。トンネル入口にタクシー2時30分の手配であったが、13時54分に到着。タクシーもすでに来ており、すぐに沢渡へ向かう。そして、我々の車に乗り換えて、



(河童橋にて)

今日の宿、奥飛騨温泉郷へ向かう。

2月5日、昨日とは打って変わって快晴。西穂高ロープウェイは9時運転開始。時間に合わせロープウェイ山麓駅へ。その手前に登山者専用の駐車場があり、既に多くの車が駐車している。駐車場から10分ほど先が駅だ。改札口は行列ができていて、順番を待つしかない。山頂駅9時30分発を予定していたが、9時50分発となった。心配した昨夜の降雪は少なく、多くの先行者がいるため、用意したワカイン、アイゼンは装着せずに登り始めた。青空と強い日差しではあるが、密生した杉林の中の緩い勾配の道を、アップダウンを繰り返しながら登る。時折、西穂高岳が姿を見せる。標高2,200mくらいから西穂山荘(2,370m)への急登となる。ここでアイゼンを装着して、急登を登り切って西穂山荘へ到着する。小屋の前には僕の背丈の

倍もある雪だるまが迎えてくれている。こんな大きな雪ダルマどうして作ったのかわからない。



ここからは、周囲の山々の大展望が見渡せた。澄み切った青空のもと、真っ白な笠ヶ岳、抜戸岳、御嶽山がきれい。もう11時30分過ぎ、この山々を眺めながら、昼食をとることとする。そして目的の眺望のよい丸山(2,452m)へ。

2,420mくらいまで急登であるが、あとはだらだら歩き。丸山ピークを目指して進む。最高の日和の中、行く手に西穂高岳の雄姿を見ながら稜線漫歩だ。

ピークからは前穂、西穂、縦沢、抜戸、笠と一望でき、独標まで行きたいところだが、今日新潟へ帰る予定。下山にからかればならない。名残は尽きないが一気に下山し、14時10分に山頂駅到着。ロープウエーは30分間隔の運転。丁度、出発したばかりであった。30分余裕があり、山頂駅展望台へ。西穂高岳から笠ヶ岳にかけての雄大な展望を楽しむことができた。



(西穂高岳)

手に西穂高岳の雄姿を見ながら稜線漫歩だ。



(抜戸岳、笠ヶ岳 (左))

そして、冬のよき日の山登りを終了した。



(山頂駅展望台にて、西穂高岳をバックに)

令和4年度第2回理事会議事概要

(日 時) 令和5年1月21日(土) 13:10~15:00

(会 場) 長岡さいわいプラザ3階 和室1

(出席者) 役員26名の内、18名出席。過半数を超え理事会成立。

顧問他を含めた出席者総数は21名。

1 黙 禱 (昨年御逝去された浅野 巨寛氏のご冥福を祈念)

2 議 題 議長: 稲田会長

(1) 各委員会報告

「指導技術委員会」(堀口委員長)

- ・岩登講習・研修会を、6月19日に新発田市杉滝岩で実施。25~26名参加。
- ・冬山講習会は、コロナを考慮し中止。

「遭難対策委員会」(中村委員長)

- ・3月の残雪期に第3安全登山講習会を予定。
- ・委員の退任及び新任 退任 小山一夫(峡彩山岳会) 新任 伊藤実(峡彩山岳会)

「自然保護委員会」(伊藤委員長)

- ・トレラン大会が、粟ヶ岳、守門岳、浅草岳で開催された。
粟ヶ岳、守門岳は、コースを変えてもらった。
- ・トレラン監視を行った。

「競技委員会」(田中委員長)

- ・11月27日に、北信越5県連絡協議会が富山県で開催された。

「登山普及委員会」(渡辺委員長)

(事業報告)

4月21日	日向倉山	1,430m	参加者 21名
6月19日	平標山	1,984m	参加者 24名
10月1日～2日	平ヶ岳	2,141m	参加者 26名

(令和5年度事業計画(案))

5月20日～21日	飯豊石転び沢～北股岳	2,025m	(山形県小国町)
7月29日～30日	赤谷山 ^{あかたん}	2,260m	(富山県)
11月3日～4日	蝶ヶ岳	2,667m	(長野県)

「弥彦山たいまつ登山祭委員会」(楡井委員長)

- ・県山協の立ち位置が不明瞭で、認識にズレがあった。⇒ 今後、意見を揉んで行く。

(2) 役員改選について

- ・会長、副会長、理事、会計、会計監査の役員改選について協議した。

(3) 会報編集委員会について

- ・上越、中越、下越、新潟に地区割をし、各地区から編集委員を選任する。

(4) 令和5年度北信越国体新潟大会について

(日時) 令和5年7月29日(土)、30日(日)
(会場) 新潟市CAMP4、新潟市中地区公民館

実行委員会の設置

(実行委員長) 理事長

(実行委員) 副会長、副理事長、競技委員長、事務局長、会計2名

- ・各加盟団体にも役員の選出をお願いする。

(5) 令和5年度評議員会について

- ・令和5年4月8日(土)開催

(6) その他

「海外登山委員会について」

- ・希望者が無く、来年度以降委員会名簿から外す。

「トレランへの協力について」

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>



食に寄り添い、心を通わす。
Alongside your cuisine and your life.

HAKKAISAN

www.hakkaisan.co.jp

・もう少し様子を見て、執行部も勉強したい。

「越後ハイキングクラブからの寄付について」

・越後ハイキングクラブが退会するにあたり、遭難対策費のうち100万円を県山協に寄付したいと申し出があった。

感謝状(クリスタルガラス製)を返礼品とする予定。

「令和5年度北信越国体新潟大会経費の一時立て替えについて」

・令和5年度北信越国体新潟大会経費を一時県山協予算から立て替えさせて頂きたい。

⇒ 理事会出席者の了承を得た。

以上

今後の行事予定

令和5年3月18日(土) 9時～	令和4年度第3回理事会(長岡さいわいプラザ305)
令和5年3月19日(日) 8時～	令和4年度安全登山研修会講習会(五泉市 白山)
令和5年3月19日(日) 10時～	新潟県クライミング選手権小中学生ボルダリング大会 (長岡市 ボルダリングジムC-BOX)
令和5年4月8日(土)	令和5年度評議員会(長岡市内を予定)
令和5年7月29日(土)～30日(日)	第44回北信越国民体育大会新潟大会 スポーツクライミング競技(新潟市 CAMP4)

賛助会員御入会・御入金のお礼

渡 邊 正 之 様 (9月1日～2月28日)

御賛同ありがとうございました。

新潟県山岳協会 会長 稲田 春男

編集後記

●我が家の庭に、梅の花が咲き、フキノトウも顔を出し始めた。不安定な天候が続いた冬から春の胎動を感じる今日この頃だ。

●2月28日の新潟地方には春一番が吹いたとの発表あり。新潟市では、風は強かったが空気が澄んでいた。飯豊連峰が青空に真白く輝いて見えた。飯豊山麓からは稜線に雪煙が上っているのも見えたとのこと。2,000m近い峰々では、よほど強い風が吹いていたのだろう。

●今日の新聞には「えちご雪割草街道スタンプリー」の広告が載っていた。雪山も里山も春到来。あちこちに春を求めて、この季節を大いに楽しみたいものだ。

●かつて、国上山で「お父さん、いっぱい咲いているから、今度スコップ持って来ようね」と大きな声で話しているのを耳にしたことがある。山にあるものはそっとしておいて欲しいと思う。自然が長く保たれることを願ってやまない。

(遠藤俊一記)

WEST
OUTDOOR LIFE STORE

新潟 / 三条 / 長岡 / 上越

